

(様式2)

令和 5 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1592500019		
法人名	社会福祉法人くろかわ福祉会		
事業所名	グループホーム黒川		
所在地	新潟県胎内市下館1523番地		
自己評価作成日	令和5年9月29日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=1592500019-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	令和5年12月1日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・令和4年9月に同法人の特別養護老人ホーム「りんどう」に移転し(併設)建物が新しくなりました。完全バリアフリーで各居室に洗面台、電動ベッド、筆筒が設置され設備がグレードアップしました。移転したことで有る際に課題となっていた2階から1階の避難がなくなり、特に夜間帯は特別養護老人ホームの職員とも連携しており、また、夜間は警備員を常駐し入居者様が安心して過ごすことができるような環境を整えています。要介護3以上になった場合は希望により併設の特養への申し込みがなされ、スムーズな入居に向けて支援できるように取り組んでいます。

- ・コロナ禍であるが、日々の活動の中で職員が話し合いを行い日々の活動や行事に活かしています。
- ・利用者様主体のケアプランをベースに個々の心身の状態に合わせた声掛けや支援を行っています。
- ・利用者様の出来る事を活かし、自立した生活や張り合いのある生活が送れるように支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○新しい環境の中での理念の実現に向けて
グループホーム黒川は開設17年目にして同法人施設内に移転し1年半経過した。以前の地域住民との関わりが豊かな住宅街から、四季折々の風景を満喫できる自然豊かな環境へと変化し、職員からは「地域との関りが利用者の生活の彩りと豊かさを作り出して来たことを改めて感じた」との言葉が聞かれた。そのような中で、今年度も理念の一つである“地域に根差した生活”を掲げ、サービスの具体化に努めている。地域行事には準備から参加し、保育園からは行事の招待を受け、小学校行事への参加、ボランティアの受け入れ、地域の文化祭への作品出典、芸術祭への参加等、以前の地域で作上げた関係を工夫しながら継続していた。また、運営推進会議では新旧地域の住民代表の参加があり、出された意見・提案をサービスに反映するなど、地域と共に有る事業所の関係性が築かれていた。入居者が皆、地元住民であるとのことからも、今後も新しい環境の中で地域交流を重ね、安心した心豊かな暮らしが継続されることを期待したい。

○医療の安心と災害時の取り組みについて
事業所は法人の運営する特別養護老人ホームとの同居スタイルでこれまでの環境から大きく変わったが、1ユニットのグループホームは介護職のみの体制となり、夜間においては一人勤務でユニットを支えている。現在は法人で宿直警備員が配置されたことや特別養護老人ホームに常勤看護師が配置されていることで、利用者の急変時や体調不良時には何時でも相談や指示が仰げるようになり、医療介護の面では本人・家族・そして職員にとって大きな安心となっている。また、災害時においても法人の施設との協力体制が整備されていることも大きな安心であり、新転地で隣接する福祉施設との協力体制も可能となっている。今後もこれまでの事業所の特性を活かしつつ、地域との役割継続が期待される。